

# DAYTONA®

## 第52期 2023年12月期 決算補足説明資料

株式会社デイトナ  
東証スタンダード 7228

2024年2月14日



© DAYTONA CORP.

**1** 会社概要 P2

---

**2** 2023年12月期 決算概要 P7

---

**3** 2024年12月期 見通し P12

---

**4** Appendix P17

---

***DAYTONA***<sup>®</sup>

# 会社概要

# 主要事業



売上高の構成比は国内拠点卸売事業が74%、アジア拠点卸売事業が7%  
自社で企画・開発した商品を中心に二輪車用パーツ・用品を約12,000点ラインナップ

## 国内拠点卸売事業

約12,000点の商品をラインナップ  
大手Eコマース向けを強化



- バイクツーリング用品
- バイクメンテナンス用品
- 新型バイク・人気車種へのカスタマイズ用品
- アウトドア用品
- Eモビリティ用品



## アジア拠点卸売事業

パーツ販売店に直接販売  
取扱店舗は約3,000店



- 2007年設立  
インドネシアジャワ島を  
中心に販売網整備
- 125ccクラススクーター用の  
補修パーツの販売が主力





# 主要事業



売上高の構成比は小売事業が17%、その他が3%

小売事業はライコランド2店舗のフランチャイジーやオフロードバイク用品店2店舗を展開

その他は太陽光発電の売電事業やバイク等のリユース事業を展開

## 小売事業

## その他

オイル・部品交換など  
ライダーのサービス拠点

脱炭素・循環型社会に向けた取組み



ライコランド柏店\*  
アップガレージライダーズ柏店  
(千葉県柏市)



ライコランド埼玉店\*  
アップガレージライダーズ埼玉上尾店  
(埼玉県上尾市)

4店舗



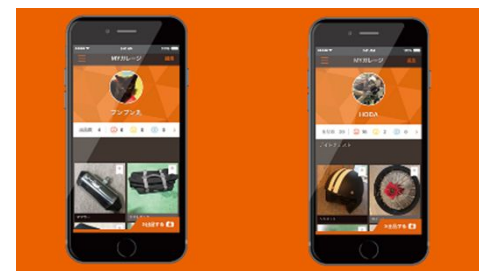
ダートバイクプラス瀬戸店  
(愛知県瀬戸市)



ダートバイクプラスOSAKA店  
(大阪府河内長野市)



- 太陽光発電事業  
本社倉庫天井の断熱化からスタート
- 太陽光発電は本社屋上と敷地内、静岡県沼津市、愛知県設楽町に合計2,050kwの発電設備を展開

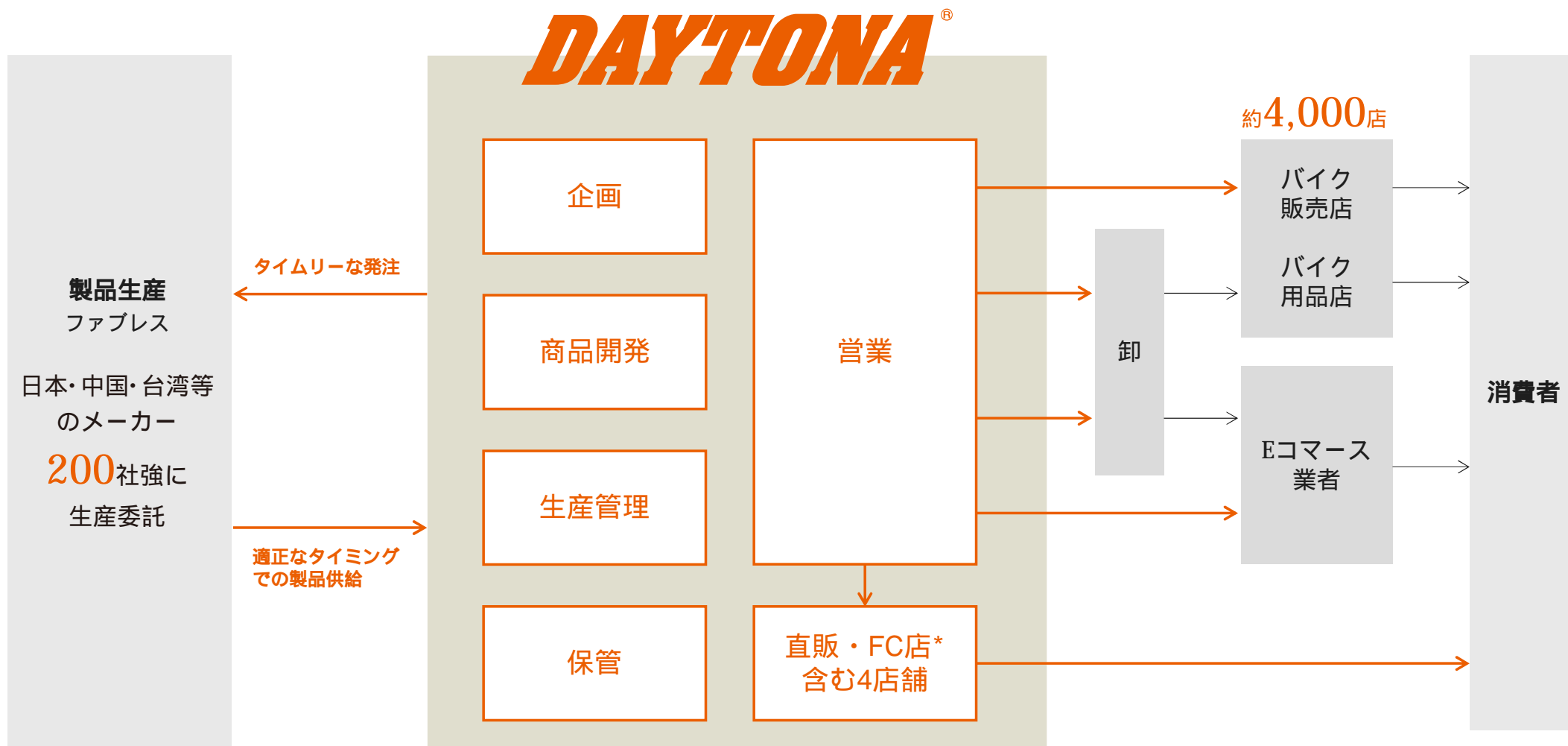


- リユースWEB事業

\*ライコランド柏店・埼玉店は株式会社コシダテックのフランチャイジーとして、当社が運営

# ビジネスの流れ

DAYTONA®



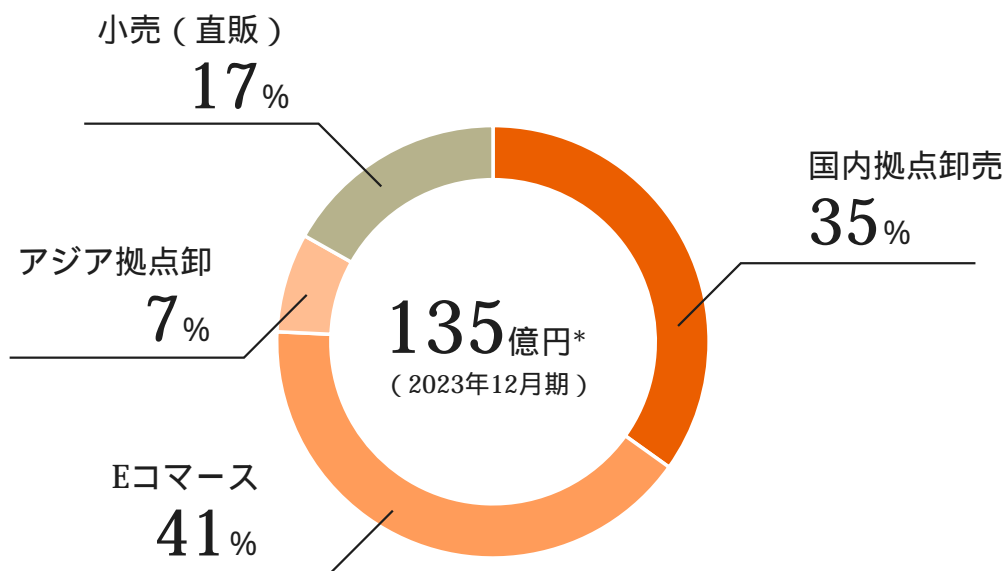
\*FC店：フランチャイジー店

## 販売先・ポジショニング

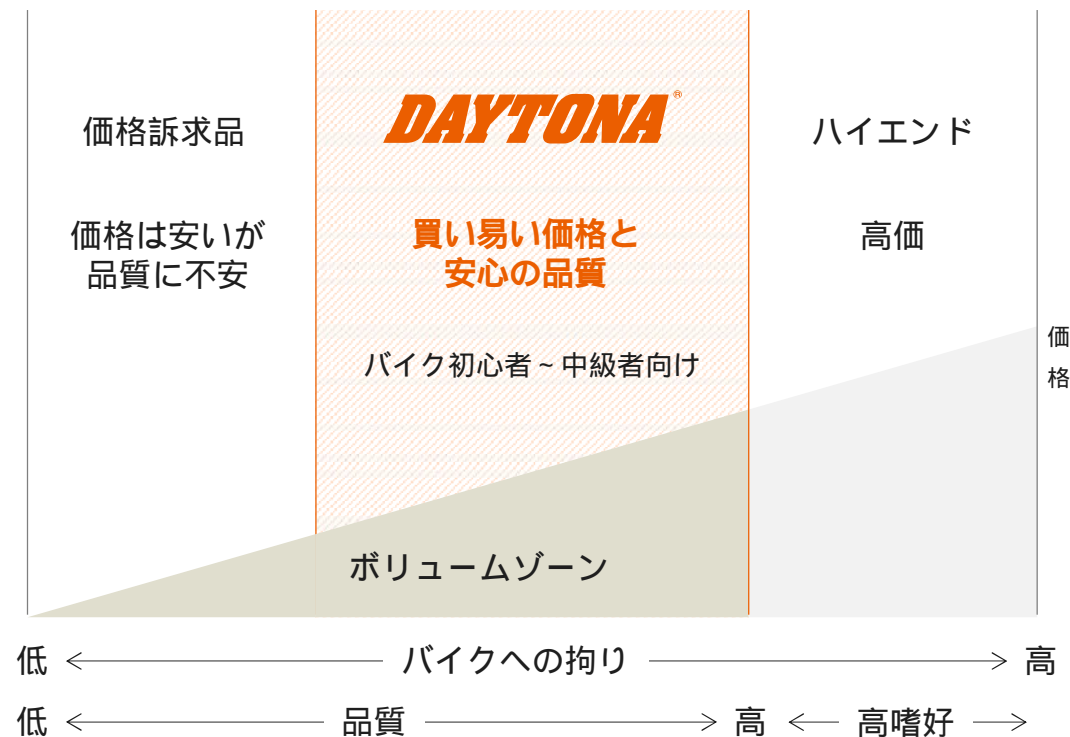
**DAYTONA®**

バイク部品・用品のうち35%が販売店・用品店向け卸売、約40%がEコマース売上  
買いやすい価格帯で安心の品質を提供

### バイク部品・用品売上高\*



### ポジショニング



\*売上高はその他事業3.8億円（太陽光発電等）を除いたもの

***DAYTONA***<sup>®</sup>

# 2023年12月期決算概要



## 2023年12月期実績

- 売上高はコロナ特需の反動減などにより前期比4%減収となったが、4Qに限れば売上高は前期並みに回復  
営業利益は減収に加えて、円安による仕入コスト上昇の影響もあり17%減益。ただし新商品については、  
価格改定を進め、適正な粗利を確保
- 部門別では国内拠点卸売が8%減収、営業利益も26%減益となったが、Eコマースに限れば13%増収と引き  
続き好調に推移
- アジア拠点卸売はバイクパーツ販売店への直販戦略が奏功し、売上高は84%増、営業利益も2.7倍
- 小売事業がコロナ特需の反動により13%減収、4Qに限れば3Q比で増収に転じた

## 2024年12月期予想

- 上期はコロナ特需の反動減や円安による仕入れコスト上昇の影響から減収減益を予想
- 下期は反動も薄れることや、価格改定商品への切り替わり、新商品投入により、通期では増収増益を予想
- Eコマース売上はオフロードバイク用品の拡充などから引き続き好調な推移を予想
- アジア拠点卸売は引き続きインドネシアでパーツ販売店への直接販売を強化することや、  
下期からフィリピンへも本格展開することから増収増益を予想
- 配当は23年12月期比8円増配の129円を計画

# 決算概要

売上高はコロナ特需の反動もあり前期比4%減となったが、Eコマース売上は13%増収と引き続き堅調  
営業利益は円安による仕入コストの上昇もあり17%減益となったが、新商品は価格改定を進め粗利益を確保  
従来予想比では、売上高、利益ともほぼ予想通り

単位：百万円	2021年 12月期		2022年 12月期		2023年 12月期				
					従来予想		実績		前期比
売上高	12,536	100%	14,586	100%	13,894	100%	13,961	100%	4.3%
売上総利益	5,213	41.6%	5,856	40.1%	-	-	5,452	39.1%	6.9%
販管費	3,385	27.0%	3,799	26.0%	-	-	3,753	26.9%	1.2%
営業利益	1,828	14.6%	2,056	14.1%	1,697	12.2%	1,698	12.2%	17.4%
経常利益	1,888	15.1%	2,116	14.5%	1,729	12.4%	1,749	12.5%	17.4%
親会社に帰属する 当期純利益	1,323	10.6%	1,433	9.8%	1,151	8.3%	1,181	8.5%	17.6%
1株当たり当期純利益	564円56銭		608円22銭		486円27銭		499円15銭		
1株当たり配当金	80円00銭		123円00銭		121円00銭		121円00銭		

## 四半期別業績

2023年12月期4Qの売上高は前年同期並みまで回復、コロナ特需後の需要減の落ち着きに加え、Eコマース向けが増収

4Qの営業利益は減収に加えて、円安に伴う仕入れコスト上昇や在庫処分に伴う値引等で15%減益

単位：百万円	2022年 12月期					2023年 12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	3,058	3,912	4,084	3,530	14,586	3,172	3,572	3,700	3,515	13,961
売上総利益	1,265	1,560	1,716	1,313	5,856	1,260	1,456	1,478	1,256	5,452
販管費	891	966	964	977	3,799	917	907	958	971	3,753
営業利益	373	593	752	336	2,056	343	548	520	285	1,698
経常利益	397	611	764	343	2,116	302	565	570	309	1,749
親会社に帰属する 当期純利益	279	407	520	226	1,433	206	375	412	186	1,181

# セグメント別業績



国内拠点卸売はコロナ特需後の反動減はあったが、4Qは前年同期並みまで回復、Eコマース向けが好調  
 アジア拠点卸売は販売店への直接販売が軌道に乗り、前期比84%増と好調に推移

単位：百万円		2022年 12月期					2023年 12月期					
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前期比
国内拠点卸売事業	売上高	2,330	3,038	3,199	2,658	11,228	2,343	2,639	2,785	2,594	10,362	7.7%
	利益	299	488	661	264	1,714	238	407	396	219	1,261	26.4%
アジア拠点卸売事業	売上高	104	135	159	153	552	217	268	273	254	1,014	83.5%
	利益	24	25	25	17	93	56	73	70	50	251	169.4%
小売事業	売上高	579	695	709	670	2,653	553	607	567	577	2,306	13.1%
	利益	36	63	64	47	212	26	47	29	0.8	104	50.7%
その他事業	売上高	85	90	85	87	348	87	91	99	111	389	11.7%
	利益	12	13	4	4	34	9	10	12	0.3	33	-3.1%
内部売上高又は振替高		-41	-47	-69	-38	-196	-28	-35	-25	-21	-112	-
セグメント間取引消去 全社費用		1	2	-3	2	2	12	9	11	14	47	-
合計	売上高	3,058	3,912	4,084	3,530	14,586	3,172	3,572	3,700	3,515	13,961	4.3%
	利益	373	593	752	336	2,056	343	548	520	285	1,698	17.4%

***DAYTONA***<sup>®</sup>

2024年12月期見通し

## 2024年12月期予想概要



2024年12月期は上期はコロナ特需の反動や円安による仕入コスト上昇の影響からやや慎重な予想

一方で下期は反動も薄れることや、価格改定商品への切り替わり、新商品投入を想定し、通期では増収増益を見込む。配当も8円増配の129円を予想

単位：百万円	2023年 12月期				2024年 12月期 予想				通期
	上期	下期	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	前同比
売上高	6,745	7,215	13,961	100.0%	6,647	7,765	14,413	100.0%	3.2%
売上総利益	2,716	2,735	5,452	39.1%	2,672	3,078	5,750	39.9%	5.5%
販管費	1,824	1,928	3,753	26.9%	1,978	1,999	3,977	27.6%	6.0%
営業利益	892	805	1,698	12.2%	694	1,078	1,772	12.3%	4.4%
経常利益	868	880	1,749	12.5%	700	1,083	1,784	12.4%	2.0%
親会社に帰属する 当期純利益	582	598	1,181	8.5%	487	727	1,214	8.4%	2.8%
1株当たり当期純利益	246円27銭	252円88銭	499円15銭		205円69銭	306円99銭	512円68銭		
1株当たり配当金	-	-	121円00銭				129円00銭		



## セグメント別予想

国内拠点卸売や小売は下期から円安前提の新商品に切り替わり、通期では増収増益を予想

Eコマース売上はオフロードバイク用品の拡充などから引き続き好調に推移すると予想

アジア拠点卸売はパーツ販売店への直接販売の強化で増収増益を予想。下期からフィリピンへも本格展開。

単位：百万円

		2023年 12月期			2024年 12月期 予想		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内拠点卸売事業	売上高	4,983	5,378	10,362	4,839	5,721	10,560
	利益	645	615	1,261	513	836	1,349
アジア拠点卸売事業	売上高	486	527	1,014	562	634	1,197
	利益	130	120	251	128	134	263
小売事業	売上高	1,161	1,144	2,306	1,167	1,285	2,452
	利益	73	30	104	42	104	147
その他事業	売上高	178	210	389	161	156	318
	利益	20	12	33	15	23	38
内部売上高又は振替高		64	47	112	58	56	115
セグメント間取引消去	全社費用	21	25	47	9	15	25
合計	売上高	6,745	7,215	13,961	6,672	7,741	14,413
	利益	892	805	1,698	689	1,083	1,772

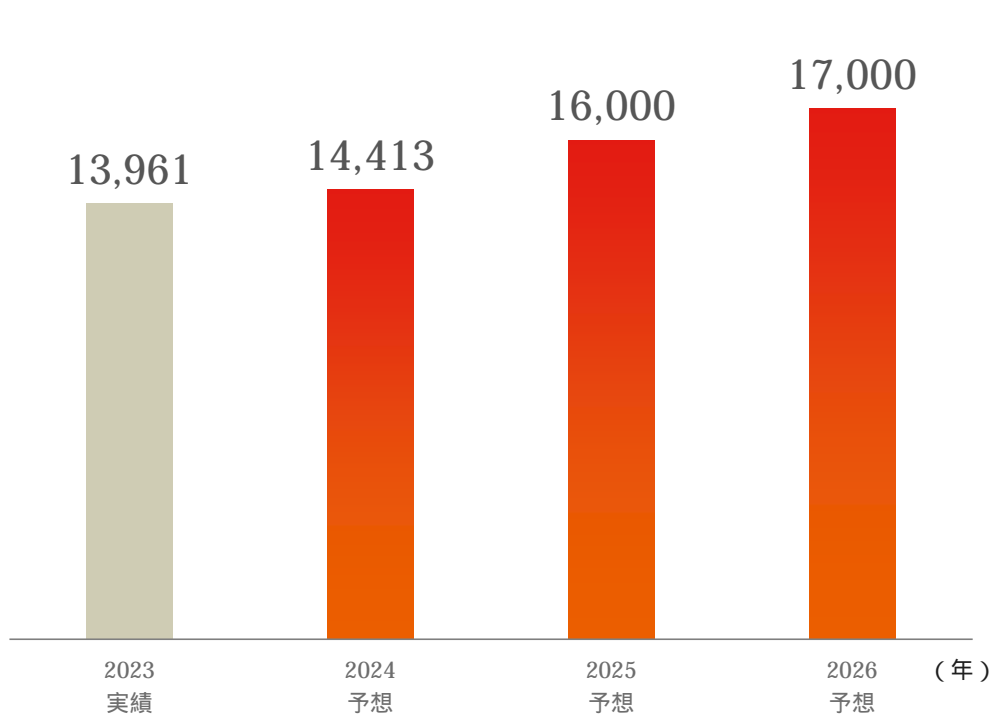
## 中期経営方針 数値目標

DAYTONA®

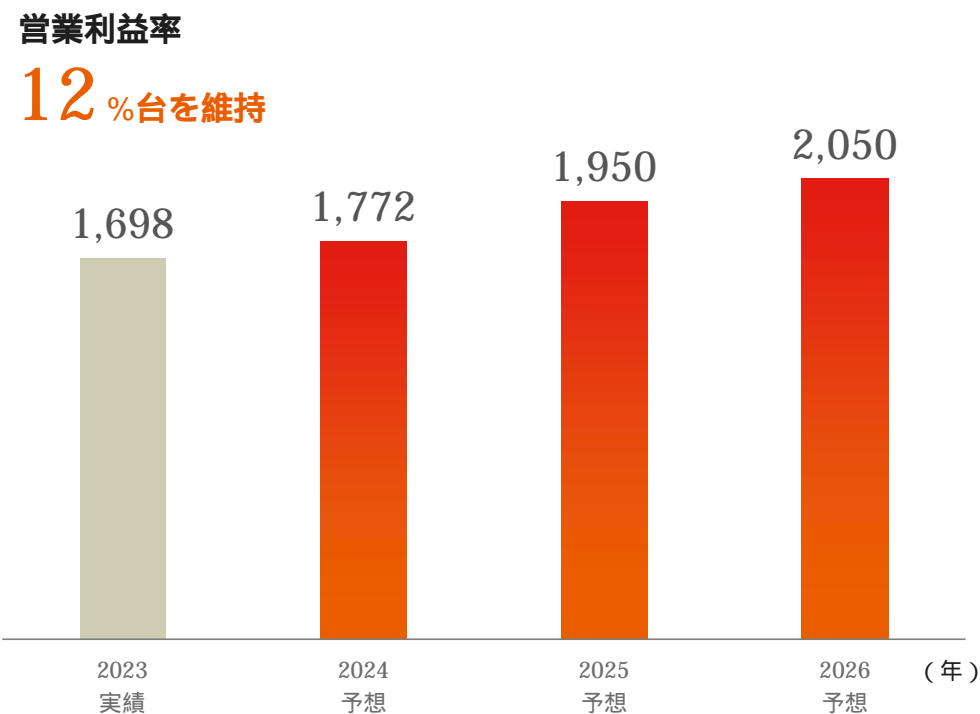
2026年12月期は売上高170億円、営業利益20.5億円を目標とする

国内卸売事業はEコマースでの成長、アジア卸売事業はインドネシアの強化に加え、フィリピンで成長を図る

売上高（百万円）



営業利益（百万円）

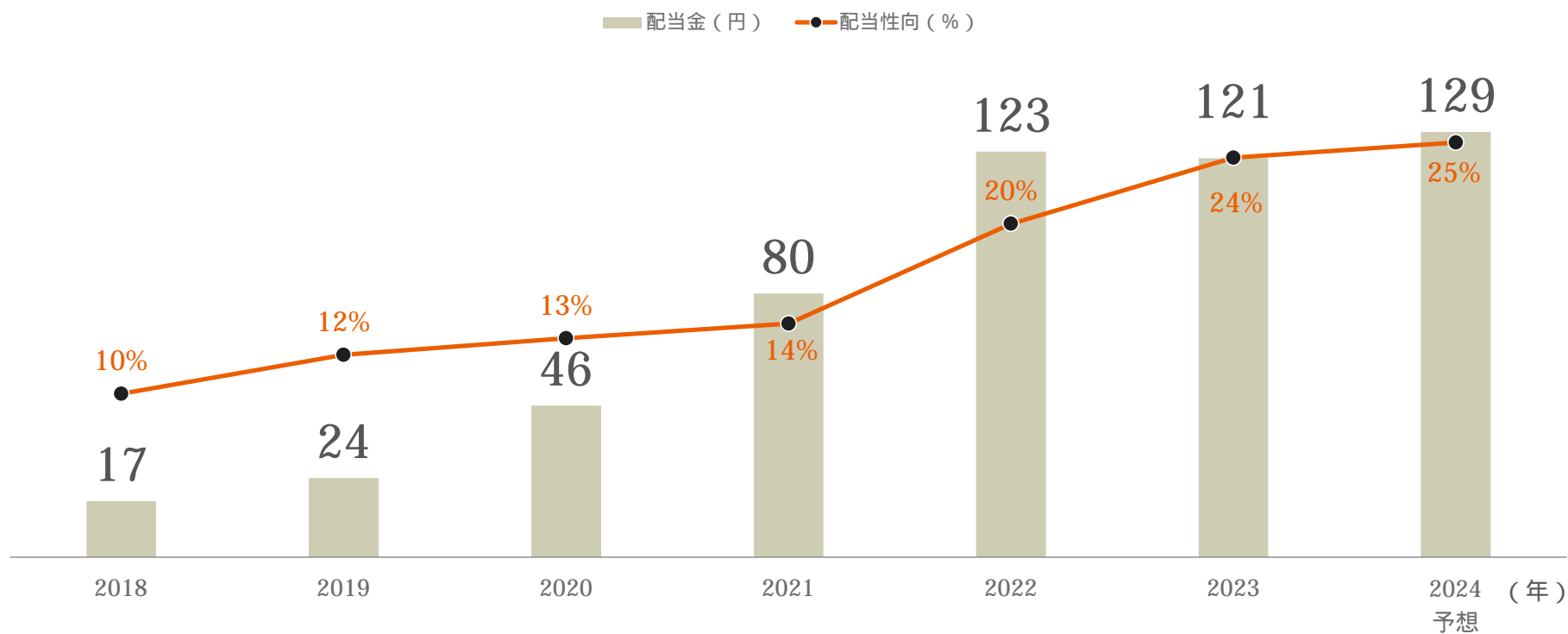


## 配当の推移

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと認識

利益還元は、連結業績、今後の事業投資の見込み、過年度の投資回収などを総合的に勘案して決定

上記方針に沿って総合的に勘案し、2024年12月期は前期比8円増配の129円配当を予想



***DAYTONA***<sup>®</sup>

# Appendix

## 貸借対照表

利益に伴う純資産の増加により現預金が増加、自己資本比率も73%へ上昇

在庫月数は3.4ヵ月とほぼ適正、商品によって多めのものがあり、仕入調整等を進めながら削減を進める

単位：百万円	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	前期差
流動資産	5,674	7,060	7,826	766
現預金	1,350	1,127	1,725	598
売上債権	1,179	1,436	1,602	166
棚卸資産	2,688	3,934	4,040	106
固定資産	2,494	2,581	2,505	76
有形固定資産	1,811	1,755	1,701	54
無形固定資産	438	377	369	8
のれん	390	325	260	65
投資その他の資産	243	449	434	15
資産合計	8,169	9,642	10,331	689
負債合計	2,724	2,904	2,674	230
買入債務	441	418	398	20
有利子負債	1,281	1,515	1,326	189
純資産合計	5,444	6,737	7,656	919
自己資本比率	65.7%	69.0%	73.2%	-

# キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは12億円の黒字となり、フリーキャッシュフローも10億円の黒字  
2022年12月期の増配や借入金の返済はあったが、期末の現金及び現金同等物の残高は15億円に増加

単位：百万円	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	752	4	1,224	1,228
税金等調整前当期純利益	1,882	2,120	1,736	383
減価償却費	162	159	160	0
のれん償却額	65	65	65	0
売上債権の増減額（は増加）	154	257	159	97
棚卸資産の増減額（は増加）	578	1,246	99	1,147
仕入債務の増減額（は減少）	17	21	24	2
投資活動によるキャッシュフロー	172	278	164	114
有形固定資産の取得による支出	133	72	101	28
財務活動によるキャッシュフロー	538	39	486	525
配当金の支払い額	106	188	290	101
現金及び現金同等物の期末残高	1,172	932	1,511	579
フリーキャッシュフロー	579	282	1,060	1,342



### 将来予測に関する注意事項

本資料に掲載されている業績目標や計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものであります。従いまして、その後の状況の変化要因により、将来の業績結果が記載内容と大きく異なる結果となる可能性がございます。

本資料は投資家の皆様各自でのご判断と責任においてご利用いただくことを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任を負いませんことをご承知ください。

### IRに関するお問合せ先

東証スタンダード 7228

株式会社 デイトナ

管理部経理グループ IR担当

TEL: 0538-84-2200

E-mail: [ir@daytona.co.jp](mailto:ir@daytona.co.jp)

URL: <https://corporate.daytona.co.jp/ja/index.html>